

授業改善プラン（第4学年）

目指す児童像	自分の考えを持ち、進んで自分の言葉で伝え合う児童	
教科	課題（児童の実態）	具体的な改善プラン・言語活動の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の苦手な児童が多い。 文章の内容を読み取ることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習の仕方を工夫し、書き写すだけでなく、考えながら学習できるようにする。 叙述に即して読み取る習慣を身に付け、大事な言葉を落とさないようにする。 自分の考えを必ず持たせ、それをペアトークや小グループでの話し合い、自信をもって学習できるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料から必要な情報を読み取るのが難しい。 地図を読むのが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から情報を単純に読み取るだけでなく、「この資料からどんなことが分かるだろうか」などを話し合わせ、資料を多面的にとらえる練習もする。 地図を活用した学習機会を増やす。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 問題の解き方を記述したり、説明したりするのが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを言葉や図、式、数直線などを用いて説明する活動を意識的に取り入れる。友達の考え方や発表の仕方のよさに気付かせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験の結果に基づいて、考察する力があまり見に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 仮説（予想・理由）を設定する場面や、観察・実験の結果を考察する場面を意図的・計画的に設定し、積み重ねていく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌うことが大好きであるが、力まかせの表現になりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容にふさわしい表現ができるよう、歌詞をきれいな声で朗読し、その内容を味わう機会を多くつくる。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 制作活動は好きだが、自己肯定感が低く、自分の思いを深められず発想や工夫が広がらない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作の過程や、道具や材料の基本的な使い方について、視覚的にわかりやすくする。 作品を見る時間を設定し、自分の表現方法も友だちの表現方法も認められるようにさせる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 苦手意識のある運動に積極的に取り組めない。 運動のこつやポイントを伝え合うことが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードを活用し、自分のめあてを明確にして取り組み、自分が向上したことを実感させる。 教え合いやグループ学習の場面を設定し、良さを共有したり、工夫や改善点を伝え合ったりできるようにする。
日常での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 話す内容を整理して、筋道立てて話すことは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 輪番でスピーチを行い、話す内容を考えてみんなの前で発表する機会を設ける。 詩集を活用して、語彙を増やしたり音読の練習をしたりする。